

【 まちの将来像3 】

みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-1	生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する
施策の方向性	本市の生涯学習に関する取組の基本となる計画を策定するとともに、市民、行政、教育機関などの連携により、社会的な課題や市民ニーズに対応した多様な学習の場や機会、情報などを提供し、市民の主体的な生涯学習活動を促します。社会教育については、学校教育との連携を図りながら、これからの時代に求められる成人教育や、公民館活動の推進、図書館の機能の充実を図ります。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	生涯学習推進体制の整備
	2	生涯学習についての普及啓発の推進
	3	成人教育の推進
	4	公民館活動の推進
	5	図書館サービスの充実
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-1-1	生涯学習推進体制の整備										
1	事業名	生涯学習センターきらめき講座等実施事業										
	目的及び概要	生涯学習に取り組む市民を支援するとともに活動の充実・向上を図るため、生涯学習センターにおいて講座、きらめきホール事業等を実施する。	H30年度	内容	①きらめき、ジュニア、ボランティア講師による講座の実施 ②ホール事業の実施 ③市内大学等連携講座の実施 ④おおさかふみんネット広域講座の実施						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
	方向性(対前年度比)	継続			事業費(百万円)	69.3	うち市負担分(百万円)	32.5	H31年度	継続		
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32年度	継続	
									H33年度	継続		
2	事業名	生涯学習参画事業										
	目的及び概要	個人や団体が培った知識・経験を広く還元できる場を提供し、学習成果を活かした幅広いジャンルの学習参画機会を展開する。 【関連取組:3-1-2 生涯学習についての普及啓発の推進】	H30年度	内容	①ボランティア講師による講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
	方向性(対前年度比)	継続			事業費(百万円)	0.3	うち市負担分(百万円)	0.3	H31年度	継続		
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32年度	継続	
									H33年度	継続		
3	事業名	生涯学習推進事業										
	目的及び概要	市の生涯学習施策を総合的により一層推進していくための方策について検討する。	H30年度	内容	(臨)①(仮称)生涯学習推進計画の策定に向けた市民意識調査の実施						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
	方向性(対前年度比)	臨時拡充			事業費(百万円)	4.7	うち市負担分(百万円)	4.7	H31年度	臨時拡充		
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32年度	臨時拡充	
									H33年度	継続		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	天文観覧室運営事業										
	目的 及び 概要	天文について分りやすく解説し自然科学の普及を図るため、プラネタリウムの投影や市民天体観望会等の催しを行う。	H 30 年度	内容	①市立小・中学校、広報誌、市ホームページでの啓発 ②プラネタリウム投影や市民天体観望会等の実施 ③オリジナル番組の投影						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.3	うち市負担分 (百万円)	8.7	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	3-1-2	生涯学習についての普及啓発の推進										
5	事業名	【再掲】生涯学習参画事業										
	目的 及び 概要	個人や団体が培った知識・経験を広く還元できる場を提供し、学習成果を活かした幅広いジャンルの学習参画機会を展開する。 【関連取組:3-1-1 生涯学習推進体制の整備】	H 30 年度	内容	①ボランティア講師による講座の講師募集 ②各種コンサートの出演者公募 ③きらめきフェスタの実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.3)	うち市負担分 (百万円)	(0.3)	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
6	事業名	生涯学習センター情報提供等実施事業										
	目的 及び 概要	広報誌・市ホームページ・生涯学習情報誌・出前講座等を通じて、様々な生涯学習関連情報の提供を行う。	H 30 年度	内容	①生涯学習事業を集約した情報誌の発行 ②出前講座の実施 ③広報誌・市ホームページでの啓発 ④生涯学習関連の窓口相談 ⑤ホームページのリニューアルを検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.6	うち市負担分 (百万円)	2.5	H31 年度	臨時 拡充
											H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	3-1-3	成人教育の推進										
7	事業名	社会教育事業										
	目的 及び 概要	知識の習得とともに自らの学習と実践を通じて自主的活動の充実と地域の連帯意識を高めることを目的に、各種講習会などを開催する。	H 30 年度	内容	①民謡踊り講習会の開催 ②識字・日本語教室の開講 ③青年による人権啓発事業の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.1	うち市負担分 (百万円)	3.1	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	社会教育関係団体育成事業										
	目的 及び 概要	社会教育関係団体の活動を促進し、社会教育の振興を図る。 社会教育関係団体等を対象としたリーダー研修、後援等により支援する。	H 30 年度	内容	①社会教育関係団体等リーダー研修会の開催 ②団体が行う事業への後援 ③後援事業チラシ等の庁内設置 ④茨木のこどもを守る運動への支援						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続		
									H34 年度	継続		
9	事業名	【再掲】家庭教育支援事業										
	目的 及び 概要	家庭教育を支援するために学校と連携しながら、保護者同士が交流し学びあう家庭教育学級の開設や、家庭教育セミナー等学習機会の提供等を行う。 【関連取組:2-4-2 学校・家庭・地域の連携の推進】	H 30 年度	内容	①家庭教育セミナーの開催 ②保護者のための講座の開催 ③親学習支援者フォローアップ研修の開催 ④親まなびおでかけ講座の開催 ⑤家庭教育学級の委託開設 ⑥家庭教育学級指導者研修会の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.7)	うち市負担分 (百万円)	(2.1)	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続		
									H34 年度	継続		
取組	3-1-4	公民館活動の推進										
10	事業名	小学校区公民館講座等実施事業										
	目的 及び 概要	各公民館において、社会教育の場として、地域住民のニーズに対応した文化、スポーツなどの講座等を開催し、住民の主体的な学習活動を支援する。 現代的課題・地域課題の解決に向けて、地域の状況に合わせた取り組みを進める。	H 30 年度	内容	①公民館講座の開催 ②講習会の開催 ③生活教育講座の開催 ④講演会の開催 ⑤現代的課題・地域課題の解決に向けた講習会等の検討、実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	15.9	うち市負担分 (百万円)	8.6	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続		
									H34 年度	継続		
11	事業名	中央公民館講座実施事業										
	目的 及び 概要	社会教育の観点から、市民の学習機会の充実を図るため、生涯学習センターを活用した少人数での学習体制による日本語読み書き学級を実施するとともに、中央公民館としての役割を明確にし、現代的課題・地域課題の解決に向けた事業推進について、研修等各公民館で必要な事業を実施する。	H 30 年度	内容	①日本語読み書き学級の実施 ②中央公民館としての役割を明確にし、現代的課題・地域課題の解決に向けた事業推進について、各課の取り組みや他市事例について情報提供する。また、各公民館と意見交換を行うなど情報共有に努めるとともに、必要な研修等実施する。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)	1.2	H31 年度	継続
											H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続		
									H34 年度	継続		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	公民館区事業補助事業										
	目的及び概要	地域住民の主体的な学習活動や地域活動を促進し、もって地域住民の生活文化の振興を図るため、補助金を交付する。		H30年度	内容	①ふるさとまつり、文化展(祭)、地域レクリエーション、館報発行事業に対して補助金を交付 ②地域活動にとってより活用しやすいものとするため、地域行事開催等事業補助へ移行を進める。		事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	7.3	うち市負担分(百万円)	7.3	H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
13	事業名	公民館エレベーター設置等事業										
	目的及び概要	高齢者や身障者等全ての利用者にとって、より利用しやすい施設とするために、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。なお、エレベーター設置に合わせ、施設の長寿命化、効率的な工事実施の観点から外壁改修工事、屋上防水工事を施工する。		H30年度	内容	①外壁改修・屋上防水工事の実施(1館)		事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	縮小	事業費(百万円)	22.2	うち市負担分(百万円)	22.2	H31年度	拡充
											H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
14	事業名	小学校区公民館維持補修事業										
	目的及び概要	小学校区単位での住民等の主体的な学習活動を支援し、生活の向上と文化の振興に寄与するため、学習機会、情報の提供を行う。そのため公民館施設の利用者が安全で快適な施設利用ができるよう、また、施設の長寿命化を図るため、維持補修に努める。		H30年度	内容	①各公民館施設及び設備の維持、補修、更新の実施 ②空調設備改修の実施 ③屋上防水の実施		事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	50.9	うち市負担分(百万円)	50.9	H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
	取組	3-1-5	図書館サービスの充実									
15	事業名	資料情報収集提供事業										
	目的及び概要	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に、図書、視聴覚資料、データベース等記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に提供する。また読書案内やレファレンス・サービス(調べもの支援)などで、利用者に必要な資料を結びつける。		H30年度	内容	①資料・情報を広く収集し、適正に管理保存し、利用者提供する ②読書案内やレファレンスサービスにより、利用者が必要な資料・情報をつなげる ③音訳・点訳・対面朗読・郵送サービス等、様々な形で資料・情報提供を行う ④広告収入により財源を確保する ⑤電子書籍など新たな形態の資料の提供について研究する ⑥高齢者等の来館困難な利用者への資料提供方法を研究する		事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	163.4	うち市負担分(百万円)	163.2	H31年度	継続
											H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	読書推進事業								
	目的 及び 概要	市域全体で乳幼児から高齢者まで、物語や読書を楽しむことができるよう、学校や関係施設、関係課と連携し、環境を整備・機会の提供を行い、読書活動を推進する。	H 30 年度	内容	①第2次茨木市子ども読書活動推進計画に沿った取組を実施する ②図書館・学校等ではおはなし会を実施する ③図書館見学や職場体験の受け入れを行う ④特集コーナー等の充実を図り、読書活動を推進する ⑤高齢者施設や図書館で朗読会を実施する (70)⑥元茨木川緑地を活用して本を介したイベントを行う				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	35.9	うち市負担分 (百万円)	32.1
担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続
									H33 年度	継続
									H34 年度	継続
17	事業名	図書館利用促進事業								
	目的 及び 概要	より多くの市民に利用してもらい、利用者の教養、レクリエーション等に資することを目的に、市民との協働によりさまざまな行事や取り組みを行うとともに、市民の利便性の向上のため、サービス拠点の充実など、図書館サービス網の整備を行う。	H 30 年度	内容	①ボランティアとの協働により、さまざまな行事を行う(人形劇・工作等行事、ライブラリフェスティバル、移動図書館を活用したイベントなど) ②図書館職員による図書館の使い方講座などを実施する ③図書館サービス網の整備及び拠点の充実について検討する (70)④子ども向けの演劇の上演を行う				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	26.7	うち市負担分 (百万円)	26.7
担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	継続
									H33 年度	継続
									H34 年度	継続
18	事業名	図書館ICT事業								
	目的 及び 概要	ICタグの導入による資料管理の効率化やホームページの充実、Wi-Fi環境の整備などを行い、市民の利便性の向上を図るとともに、情報・資料へのアクセスを容易にする環境づくりを行う。	H 30 年度	内容	①図書館システムの維持・運用 ②図書館サービスにおけるICTの利活用について情報収集を図り、研究する ③図書館システム更新に向け、次期システムの概要検討を行う				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	73.2	うち市負担分 (百万円)	73.2
担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H32 年度	拡充
									H33 年度	継続
									H34 年度	継続

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-2	みんなが楽しめるスポーツ活動を推進する
施策の方向性	スポーツ関係団体等と連携し、健康増進・生きがいがいづくりのイベント、スポーツ教室等を開催するとともに、各自の興味や年齢、体力、技能等に応じて、誰もが気軽に生涯スポーツに親しむことができる環境を整えます。また、本市のスポーツ推進に関する取組の基本となる計画を策定します。 地域スポーツ等の活動・運営を支える人材の育成や互いに協力しあえるネットワークを構築します。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	多様な生涯スポーツ活動の推進
	2	スポーツ関係団体や指導者の育成
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-2-1	多様な生涯スポーツ活動の推進													
1	事業名	生涯スポーツ推進事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現と市民の健康づくりのため、スポーツ機会の充実を図る。				H30年度	内容	(70)①競技大会等イベントの追加(市制70周年記念ウォーキング大会、ホッケー交流大会の実施) ②用具の貸し出し ③スポーツ教室・講習会の実施 ④スポーツに関する情報の発信				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	27.0	うち市負担分(百万円)	25.8	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
2	事業名	スポーツ施設管理運営事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、市民が安全に安心して快適にスポーツ活動ができるよう、市民体育館・市民プール及び運動広場等の適切な管理・運営を行う。				H30年度	内容	①体育館・プール・忍頂寺スポーツ公園及びグラウンド、テニスコートの利用等の管理				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	488.7	うち市負担分(百万円)	335.6	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
3	事業名	運動広場等営繕事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、高齢者や障害者を含むすべての市民がより利用しやすくなるよう、スポーツ施設の附帯設備を整備する。福井市民体育館の敷地内に、運動広場等利用者用の多目的トイレを新設する。島3号公園グラウンドに、本部新設の設計を行う。				H30年度	内容	①多目的トイレの新設工事(福井運動広場) ②本部新設設計委託の実施(島3号公園グラウンド)				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	13.0	うち市負担分(百万円)	1.8	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	スポーツ推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	3-2-2	スポーツ関係団体や指導者の育成													
4	事業名	スポーツ団体・指導者育成事業													
	目的及び概要	スポーツ推進計画に基づき、スポーツを支える指導者等の人材の育成を行うとともに、スポーツ関係団体や老人クラブ等の地域に根ざして活動する団体、大学、企業等、関係団体と連携・協働することにより生涯スポーツ環境の充実を図る。				H30年度	内容	①指導者講習会・研修会の実施 ②推進委員活動の支援 ③スポーツ指導者登録・紹介制度の制定				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	10.5	うち市負担分 (百万円)	10.5	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
担当課	部名	市民文化部		課名	スポーツ推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの"楽しい"が見つかる文化のまち
施策	3-3	文化芸術活動を支援し歴史と伝統を継承する
施策の方向性	文化振興ビジョンに基づき、市民の主体的な文化活動や交流を支援するとともに、子どもたちへの多様なアプローチを進めるなど、新しい担い手の発掘と育成を図ります。また、歴史遺産の保存と活用を推進し、拠点施設の機能充実を図り、市民の郷土愛を育むことで、歴史文化遺産を発展的に継承します	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	市民との協働による文化のまちづくり
	2	★ 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり
	3	★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成
	4	★ 歴史遺産の保存・継承
	5	郷土への愛着心とブランド形成
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-3-1	市民との協働による文化のまちづくり														
1	事業名	文化芸術振興補助事業														
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組を行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容 ①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)					
			方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	0.8	うち市負担分(百万円)	0.8	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名	【再掲】文化振興事業														
	目的及び概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容 ①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④小学生に加えて就学前親子対象イベントの実施 ⑤財団のあり方検討 ⑥市制施行70周年記念事業としてオリジナル記念切手シートを作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)					
			方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(111.9)	うち市負担分(百万円)	(111.1)	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
3	事業名	【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業														
	目的及び概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】				H30年度	内容 ①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)					
			方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3.4)	うち市負担分(百万円)	(3.4)	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部		課名	文化振興課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】市立ギャラリー運営事業									
	目的及び概要	美術作品を展示することにより市民の美術に関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】	H30年度	内容	①ギャラリーの運営及び企画展の開催			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(5.9)	うち市負担分(百万円)	(2.2)	H31年度	継続
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
5	事業名	【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業									
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】	H30年度	内容	①アートプロジェクトの実施			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H31年度	継続
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
取組	3-3-2	★文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり									
6	事業名	◎【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ソフト)									
	目的及び概要	閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえ、その活用を検討、推進する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と有効活用】	H30年度	内容	①基本計画策定・PPP手法導入可能性調査 ②実施方針作成 ③育てる広場実現への取組(ワークショップ、社会実験の実施)			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
				方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	(33.5)	うち市負担分(百万円)	(21.7)	H31年度	臨時拡充
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館跡地活用推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
7	事業名	◎【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ハード)									
	目的及び概要	閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえ、その活用を検討、推進する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と有効活用】	H30年度	内容	①元市民会館・福祉文化会館・人工台地解体設計(48.6百万円) ②元市民会館・人工台地解体工事			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(48.6)	うち市負担分(百万円)	(48.6)	H31年度	継続
										H32年度	拡充
										H33年度	継続
										H34年度	臨時拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館跡地活用推進課	会計区分	一般	事業区分	ハード		

8	事業名	市立ギャラリー運営事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
	目的 及び 概要	美術作品を展示することにより市民の美術に 関する創作及び鑑賞活動を促進し、美術を 通じて市民文化の振興を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化 のまちづくり】	H 30 年度	内容 ①ギャラリーの運営及び企画展の開催	H31 年度		継続		継続	
					H32 年度		継続		継続	
					H33 年度		継続		継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.9	うち市負担分 (百万円)	2.2	H34 年度		継続		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
9	事業名	◎ まちなかアートツアー								
	目的 及び 概要	市内に設置されている彫刻や絵画等の芸術 作品を市民に知ってもらうことにより、文化芸 術を身近に感じてもらう機会とするため、「ま ちなかアートツアー」を実施する。	H 30 年度	内容 ①市内のアートマップを活用し、市内の芸術作品を 巡って鑑賞する「まちなかアートツアー」を実施	H31 年度		継続		継続	
					H32 年度		継続		継続	
					H33 年度		継続		継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H34 年度		継続		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
10	事業名	【再掲】文化振興事業								
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸 術文化に関係する事業を実施することにより、 広く市民文化の向上を図るとともに文化関係 団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化 のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブラン ド形成】	H 30 年度	内容 ①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委 員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホ ールを利用する事業に補助金を交付 ④小学生に加えて就学前親子対象イベントの実施 ⑤財団のあり方検討 ⑥市制施行70周年記念事業としてオリジナル記念 切手シートを作成	H31 年度		継続		継続	
					H32 年度		継続		継続	
					H33 年度		継続		継続	
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(111.9)	うち市負担分 (百万円)	(111.1)	H34 年度		-		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
11	事業名	【再掲】吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業								
	目的 及び 概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成 を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において 市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽 文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化 のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術 の担い手の育成】	H 30 年度	内容 ①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開 催	H31 年度		継続		継続	
					H32 年度		継続		継続	
					H33 年度		継続		継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(3.4)	うち市負担分 (百万円)	(3.4)	H34 年度		継続		
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業												
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容 ①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分(百万円)	(0.8)	H31年度	継続
												H32年度	継続	
												H33年度	継続	
												H34年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
13	事業名	◎【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業												
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容 ①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H31年度	継続
												H32年度	継続	
												H33年度	継続	
												H34年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
14	事業名	富士正晴記念館事業												
	目的及び概要	寄託を受けた郷土の作家である富士正晴氏に関する資料の収集・整理・保存を行い、資料整理報告書の刊行や、整理資料の公開、講演会(年1回)を実施する。				H30年度	内容 ①富士正晴氏に関する資料の収集・整理保存 ②富士正晴の絵はがき販売 ③ミュージアムネットワークへの参加、川端康成文学館との連携による記念館の周知 ④講演会の開催 ⑤企画展の開催 ⑥未刊行の資料等の発行 ⑦資料目録のホームページでの公開				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.2	うち市負担分(百万円)	2.1	H31年度	継続
												H32年度	継続	
												H33年度	継続	
												H34年度	継続	
	担当課	部名	教育総務部	課名	中央図書館	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
15	事業名	福祉文化会館・市民総合センター運営事業												
	目的及び概要	市民福祉の増進及び文化教養の向上を図り、文化団体や文化振興財団が文化芸術に関する事業を実施する拠点となる施設を運営する。 文化芸術施設の建設等については、引き続き検討する。				H30年度	内容 ①2館の維持管理及び指定管理 ②財団のあり方検討 ③福祉文化会館閉館に向けた検討 ④新文化施設の検討				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	258.7	うち市負担分(百万円)	238.2	H31年度	継続
												H32年度	継続	
												H33年度	継続	
												H34年度	継続	
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

取組	3-3-3 ★ 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成														
16	事業名	吹奏楽団・少年少女合唱団育成活動事業													
	目的及び概要	本市の音楽文化の振興と青少年の健全育成を図ることを目的に、吹奏楽や合唱において市民の音楽活動の充実に努めるとともに音楽文化の向上を図る。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】				H30年度	内容	①吹奏楽団・少年少女合唱団の定期演奏会の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.4	うち市負担分(百万円)	3.4	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
17	事業名	◎ 文化振興事業													
	目的及び概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④小学生に加えて就学前親子対象イベントの実施 ⑤財団のあり方検討 ⑥市制施行70周年記念事業としてオリジナル記念切手シートを作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	111.9	うち市負担分(百万円)	111.1	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
18	事業名	◎ 【再掲】芸術を活用したまちづくり推進事業													
	目的及び概要	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容	①アートプロジェクトの実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(3)	うち市負担分(百万円)	(3)	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
19	事業名	【再掲】文化芸術振興補助事業													
	目的及び概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組みを行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(0.8)	うち市負担分(百万円)	(0.8)	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

20	事業名	川端康成文学館運営事業												
	目的及び概要	多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-5 郷土への愛着心とブランド形成】				H30年度	内容	①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②川端康成青春文学賞の開催				事業の方向性の見込み(対前年度比)	H31年度	継続
							方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	32.9	うち市負担分(百万円)	32.2	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
取組		3-3-4 ★ 歴史遺産の保存・継承												
21	事業名	千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業												
	目的及び概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】				H30年度	内容	①埋蔵文化財確認調査 194万円 ②科学分析 18万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)	H31年度	-
							方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	2.2	うち市負担分(百万円)	1.1	H32年度	-
													H33年度	-
													H34年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
22	事業名	◎ キリシタン遺物史料館展示充実事業												
	目的及び概要	世界的にも貴重なキリシタン遺物のほとんどが個人所蔵である現状を鑑み、保存と公開の調和を図るため、高精度複製品製作を進めるとともに、その成果も含めた企画展の充実に取り組み、本市に残された歴史的資産のPRに努める。				H30年度	内容	①キリシタン遺物複製品製作(1点)199万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)	H31年度	継続
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.0	うち市負担分(百万円)	2.0	H32年度	完了
													H33年度	-
													H34年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
23	事業名	歴史的建造物等保存活用推進事業(神社・寺院など)												
	目的及び概要	歴史的建造物の代表的なものとして神社(81社うち式内社11社)や寺院(105寺)が数多く存在し、本市の風土・文化・景観を形成していることから、市民が歴史的建造物等について理解を深め、地域での保存と活用の取り組みを実行できるよう調査・啓発を行う。				H30年度	内容	①(臨)歴史的建造物総合調査 10万円 ②(臨)原稿依頼 162万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)	H31年度	完了
							方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	1.8	うち市負担分(百万円)	1.8	H32年度	-
													H33年度	-
													H34年度	-
	担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

24	事業名	文化財保護啓発事業									
	目的 及び 概要	H 30 年度	内容	①各種展示(テーマ展・企画展・コーナー展)の充実 ②文化財説明案内板設置 ③文化財専門研修 ④竜王山に関する調査・研究 ⑤市史収集資料の整理・活用(市史収集資料保存活用事業より一部移管)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	7.3	うち市負担分 (百万円)	7.3	H31 年度	継続
										H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続	
									H34 年度	継続	
25	事業名	史跡郡山宿本陣管理事業									
	目的 及び 概要	H 30 年度	内容	①郡山宿本陣運営及び施設維持管理 619万円 ②保存管理のあり方の検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.2	うち市負担分 (百万円)	6.2	H31 年度	継続
										H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続	
									H34 年度	継続	
26	事業名	埋蔵文化財出土品保存活用推進事業									
	目的 及び 概要	H 30 年度	内容	①市内遺跡出土遺物整理業務委託(市内遺跡調査内業整理事業より一部移管) 1916万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	19.2	うち市負担分 (百万円)	19.2	H31 年度	継続
										H32 年度	継続
担当課	部名	教育総務部	課名	歴史文化財課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続	
									H34 年度	継続	
取組	3-3-5	郷土への愛着心とブランド形成									
27	事業名	芸術を活用したまちづくり推進事業									
	目的 及び 概要	H 30 年度	内容	住民交流やまちの課題解決に芸術を活用し、芸術文化都市として茨木市のさらなる発展を図る。 また、運営については、市内の芸術団体と市の協働による実行委員会形式で実施する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	3.0	うち市負担分 (百万円)	3.0	H31 年度	継続
										H32 年度	継続
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H33 年度	継続	
									H34 年度	継続	

28	事業名 【再掲】川端康成文学館運営事業									
	目的 及び 概要	多くの市民に川端文学に親しんでもらう拠点として、川端康成ゆかりの資料の展示を行うことにより、教養を高め、市民文化の向上に寄与する。 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】	H 30 年度	内容	①川端康成文学館の運営及び常設展示、企画展の開催、併設ギャラリーでの企画展を開催 ②川端康成青春文学賞の開催					事業の方向性 の見込み (対前年度比)
方向性 (対前年度比)					臨時 拡充	事業費 (百万円)	(32.9)	うち市負担分 (百万円)	(32.2)	H31 年度
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
29	事業名 【再掲】文化振興事業									
	目的 及び 概要	文化関係団体や文化振興財団と連携して芸術文化に関係する事業を実施することにより、広く市民文化の向上を図るとともに文化関係団体の活動を促進させる。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】	H 30 年度	内容	①美術展等の各種文化事業の開催 ②文化芸術推進市民会議、文化振興施策推進委員会との連携 ③立命館いばらきフューチャープラザグランドホールを利用する事業に補助金を交付 ④小学生に加えて就学前親子対象イベントの実施 ⑤財団のあり方検討 ⑥市制施行70周年記念事業としてオリジナル記念切手シートを作成					事業の方向性 の見込み (対前年度比)
方向性 (対前年度比)					拡充	事業費 (百万円)	(111.9)	うち市負担分 (百万円)	(111.1)	H31 年度
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
30	事業名 【再掲】文化芸術振興補助事業									
	目的 及び 概要	伝統芸能の保護、若手芸術家の育成支援など、文化芸術の振興につながる取組を行う事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-3-1 市民との協働による文化のまちづくり】 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:3-3-3 未来へ向けた文化芸術の担い手の育成】	H 30 年度	内容	①茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、選考事業に対し補助金を交付					事業の方向性 の見込み (対前年度比)
方向性 (対前年度比)					拡充	事業費 (百万円)	(0.8)	うち市負担分 (百万円)	(0.8)	H31 年度
担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-4	観光資源の活用と創出で魅力あるまちづくりをすすめる
施策の方向性	茨木市の自然、歴史、文化、地域で生み出される特産品など豊富で魅力的な観光資源を最大限に活用し、市内外の人が訪れて「楽しい」と思ってもらえるよう、観光資源をつなぐ取組を推進します。さらに、観光協会と連携し、幅広い年代に応じた効果的な情報発信を行い、わがまちに誇りを持つ、観光をいかしたまちづくりを進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進
	2	観光情報の発信を強化
	3	★ 官民協働で観光事業を推進
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-4-1	★ 観光資源の発掘とネットワーク化の推進														
1	事業名	◎ 観光あるき事業														
	目的及び概要	阪急京都線沿線において、沿線自治体と鉄道事業者が実行委員会を作り、地域の魅力を発信していくことを目的とし、「阪急京都線沿線観光あるき」のPR事業やイベント等を行う。				H30年度	内容 ①パンフレット作成等によるPR事業、ウォーキングイベント事業、沿線でのイベント等を行う。				事業の方向性の見込み (対前年度比)					
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
2	事業名	◎ 大阪ミュージアム関係事業														
	目的及び概要	大阪のまち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を発掘・再発見すること等によりまちの魅力を内外に発信することを目的とし、本市にある魅力的な地域資源を大阪ミュージアム登録物として登録し、登録物を活用した観光推進を行う。				H30年度	内容 ①各課から事業提案を募集				事業の方向性の見込み (対前年度比)					
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							
取組	3-4-2	観光情報の発信を強化														
3	事業名	【再掲】観光推進事業														
	目的及び概要	観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行う。また、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、その他の関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】				H30年度	内容 ①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付 ③観光協会をはじめとした関連団体との連携				事業の方向性の見込み (対前年度比)					
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(9.8)	うち市負担分 (百万円)	(9.8)	H31年度	継続	H32年度	継続	H33年度	継続	H34年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】地域魅力アップイベント創出育成事業										
	目的 及び 概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、観光客の誘致及び市の知名度向上に資するイベントを実施する事業に対し、経費の一部を補助する。 【関連取組:3-4-3 官民協働で観光事業を推進】	H 30 年度	内容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.5)	うち市負担分(百万円)	(2.5)	H31年度	継続
									H32年度	継続		
								H33年度	継続			
								H34年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	3-4-3 ★ 官民協働で観光事業を推進											
5	事業名	◎ 観光推進事業										
	目的 及び 概要	観光振興を図り地域を活性化するため、市内の観光情報の発信を行う。また、各種観光事業を実施している観光協会に補助金を交付し自主的な運営を支援するとともに、その他の関連団体とも連携を図りながら観光事業を推進する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】	H 30 年度	内容	①ホームページ等で観光情報の発信 ②観光協会に補助金を交付 ③観光協会をはじめとした関連団体との連携				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	9.8	うち市負担分(百万円)	9.8	H31年度	継続
									H32年度	継続		
								H33年度	継続			
								H34年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
6	事業名	茨木フェスティバル事業										
	目的 及び 概要	市民意識の高揚とみんなの郷土づくりを推進し、市民の連帯感を高めるため、市・商工会議所・観光協会・青年会議所の4者協働で構成する茨木フェスティバル協会によりイベントを開催する。	H 30 年度	内容	①(70)南北グラウンド等でのイベントなどを、7月下旬の土・日曜日に開催する。				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	11.0	うち市負担分(百万円)	11.0	H31年度	継続
									H32年度	継続		
								H33年度	継続			
								H34年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
7	事業名	いばらき光の回廊事業										
	目的 及び 概要	市内のにぎわいを創出し、観光振興を図るため、市と民間団体で構成する実行委員会により、イルミネーション装飾及び関連イベントを実施する。	H 30 年度	内容	①資源活用・地域経済活性化実態調査の結果を踏まえて内容を検討し、イルミネーションや関連イベントを実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	21.0	うち市負担分(百万円)	21.0	H31年度	継続
									H32年度	継続		
								H33年度	継続			
								H34年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名 地域魅力アップイベント創出育成事業												
	目的 及び 概要	観光の振興及びブランド化を促進するため、 観光客の誘致及び市の知名度向上に資する イベントを実施する事業に対し、経費の一部 を補助する。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】				H 30 年 度	内 容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の 意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に 対し補助金を交付				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H31 年 度	継続
												H32 年 度	継続
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	2.5	うち市負担分 (百万円)	2.5	H33 年 度	継続	H34 年 度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
9	事業名 資源活用・地域経済活性化実態調査事業												
	目的 及び 概要	地域経済の活性化へ繋げる「茨木らしい観光 施策」について検討するため、「資源活用・地 域経済活性化実態調査」を実施する。				H 30 年 度	内 容	①平成28・29年度に実施した調査結果を踏まえ、 本市の観光施策の方向性を検討				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H31 年 度	-
												H32 年 度	-
方向性 (対前年度比)		完了	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年 度	-	H34 年 度	-			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

1 施策の概要

まちの将来像	3	みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち
施策	3-5	都市間の交流と国際化をすすめる
施策の方向性	国内外の姉妹都市を中心とした市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深めるとともに、さまざまな分野での文化活動の交流を図ります。さらに、市民の異文化理解活動を支援し、国籍を超えた多彩な交流を進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	都市間交流の促進
	2	地域国際化を推進するための環境整備
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	3-5-1	都市間交流の促進													
1	事業名	姉妹都市等との交流事業													
	目的及び概要	海外や国内の姉妹都市等とのさまざまな分野での市民レベルの交流を促し、他地域の文化の理解を深める。				H30年度	内容	①海外や国内の各姉妹都市等との人的交流(マラソン、キャンプ交流等)やその他の交流(絵画・書の交換等)の実施 ②国内姉妹都市への宿泊費用補助制度の実施 ③茨木フェスティバル・農業祭での姉妹都市ブースの受け入れ ④(臨)小豆島町との姉妹都市提携30周年・竹田市との歴史文化姉妹都市提携5周年事業として交流事業を実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	9.8	うち市負担分(百万円)	9.8	H31年度	継続
														H32年度	臨時拡充
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
2	事業名	茨木市国際親善都市協会補助事業													
	目的及び概要	姉妹都市等との交流や、在住外国人・留学生との交流事業を実施する茨木市国際親善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-2 地域国際化を推進するための環境整備】				H30年度	内容	①姉妹都市等への市民訪問団等の派遣・受入や、在住外国人への日本語教室、在住外国人と市民との交流イベント等を実施する茨木市国際親善都市協会への補助 ②(臨)小豆島町との姉妹都市提携30周年・竹田市との歴史文化姉妹都市提携5周年を記念した交流事業を実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	1.8	うち市負担分(百万円)	1.8	H31年度	継続
														H32年度	臨時拡充
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
取組	3-5-2	地域国際化を推進するための環境整備													
3	事業名	【再掲】茨木市国際親善都市協会補助事業													
	目的及び概要	姉妹都市等との交流や、在住外国人・留学生との交流事業を実施する茨木市国際親善都市協会の活動を支援する。 【関連取組:3-5-1 都市間交流の促進】				H30年度	内容	①姉妹都市等への市民訪問団等の派遣・受入や、在住外国人への日本語教室、在住外国人と市民との交流イベント等を実施する茨木市国際親善都市協会への補助 ②(臨)小豆島町との姉妹都市提携30周年・竹田市との歴史文化姉妹都市提携5周年を記念した交流事業を実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(1.8)	うち市負担分(百万円)	(1.8)	H31年度	継続
														H32年度	臨時拡充
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	地域国際化推進事業													
	目的及び概要	市内で生活する外国人が生活しやすいよう、市民ハンドブック等の刊行物の多言語化や、英語対応可能な職員の配置などを行い、外国人も日本人も共に生活できる環境づくりを行う。				H30年度	内容	①外国籍住民へのアンケート結果を元に、多様な文化・国籍の人が生活しやすい環境づくりのための施策を進める				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.0	うち市負担分(百万円)	1.0	H31年度	継続
														H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
	担当課	部名	市民文化部	課名	文化振興課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。